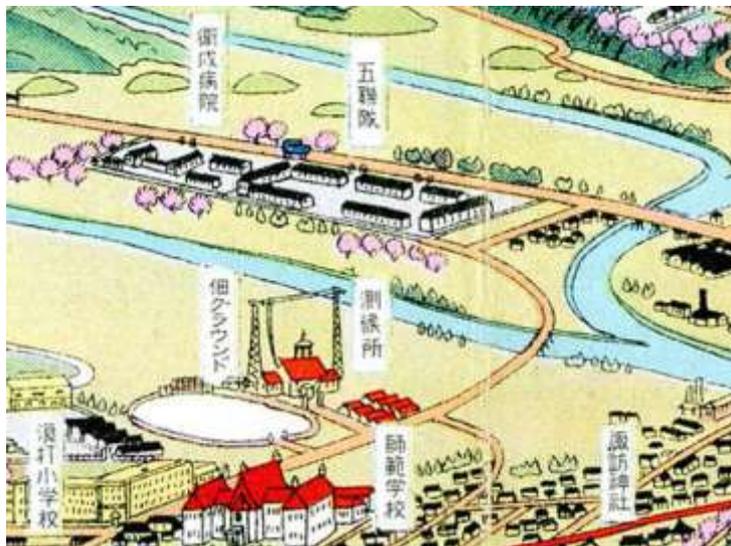


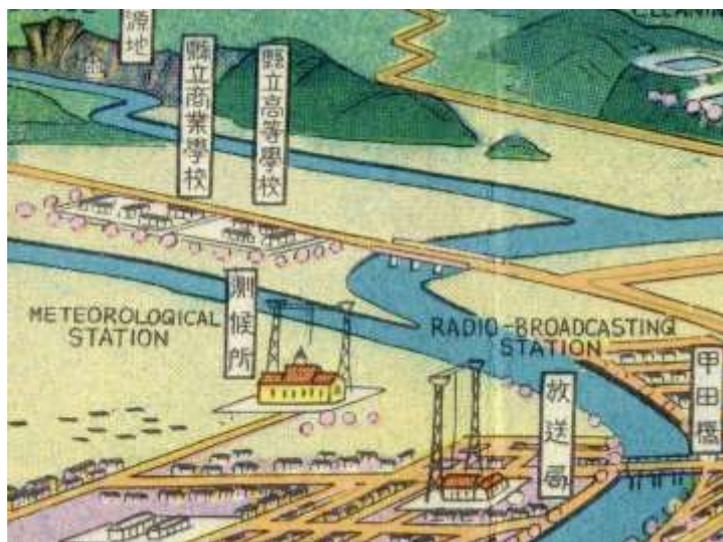
現在、歴史資料室では館内展示「<sup>ちょうかんず</sup>鳥瞰図を愉しむ—<sup>たの</sup>吉田初三郎と今克己が描いた青森市」を行っています。今週、一部展示替えをいたしました。7階廊下のガラスケースに展示している「祝町村合併記念 新観光地ハイキングコース図」はこれまで展示していた面の裏側を見ることができます。また、8階のパネル展示の内容も変わりました。

8階のパネル展示では吉田初三郎が描いた昭和7年（1932）と昭和23年の鳥瞰図を比較して大きな変化が見られる場所を紹介する「くらべてみよう」というコーナーを設けています。今回のトリビアはこのコーナーで紹介している場所のひとつについてお話しします。

それは、昭和7年の鳥瞰図では「五連隊」と「<sup>えいじゅ</sup>衛戍病院」が描かれている場所です。現在、この場所は青森高校と筒井中学校の敷地になっています。一方、昭和23年の鳥瞰図をみると、そこには「県立高等学校（現青森高校）」と「県立商業学校（現青森商業高校）」が描かれています。



「五連隊」と「衛戍病院」が描かれた鳥瞰図  
(昭和7年「青森市鳥瞰図」、歴史資料室蔵)



「県立高等学校(青森高校)」と「県立商業学校(青森商業高校)」が描かれた鳥瞰図  
(昭和23年「青森市鳥瞰図」、歴史資料室蔵)

さて、五連隊跡地が学校の敷地として利用されるようになったのは、今から 70 年前の昭和 21 年 6 月のことでした。この時、五連隊跡地を利用したのは青森中学校（昭和 23 年に青森高校と改称）、青森商業学校（昭和 23 年に青森商業高校と改称）、青森高等女学校（昭和 25 年に青森高校と統合）の 3 校でした。青森商業学校は昭和 19 年に火災で校舎を失い、青森中学校と青森高等女学校は昭和 20 年の青森空襲により校舎を失い、他校を間借りするなどして授業を行っていました。そんな 3 校が五連隊跡地にあった建物を校舎として使うことになったのです。

しかし、3 校のうち青森高等女学校は昭和 22 年に火災のため校舎を失い、昭和 23 年に浪打地区の新校舎へと移転しています。そのため、昭和 23 年の鳥瞰図では「県立高等学校（青森高校）」と「県立商業学校（青森商業高校）」が描かれているのです。

その後、青森高校は昭和 24 年に新校舎第一期工事を開始、青森商業高校は昭和 26 年に浪打地区の校舎（現市民体育館付近）に移転しました。

ちなみに、青森高校の敷地には新校舎が完成した後も古い兵舎の建物が残されていました。兵舎は物置などとして使われましたが、昭和 43 年に自衛隊駐屯地内に移築され、現在は資料館となっています。『青森県史』文化財編建築（2015 年 青森県）によると、なんとこの兵舎は明治 11 年（1878）に建築されたもので、県内に現存する洋風建築ではもっとも古いものとされているそうです。



青森高校正門のそばにあった兵舎  
（歴史資料室蔵）